指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和4年度）

施設名	吹田市花とみどりの情報センター	所管部室課名	土木部公園みどり室
所在地	吹田市津雲台1-2-1	設置年月日	平成24年（2012年）9月3日

1　施設の概要

(1)設置目的	花とみどりに関する情報の普及を図るとともに花とみどりにふれあう市民相互の交流の場を提供し、もって緑化意識の高揚に資することを目的とする。	
(2)規模、開館日等	【規模】 展示室1室 講習室1室	【開館日時等】 開館時間:10：00～18：00 休館日:月曜日、祝日（祝日が月曜日と重なったときは、その翌日も休館）、12月29日～1月3日、みどりの日は開館

2　指定管理者の概要

(1)指定管理者	株式会社日比谷アメニス				
(2)指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）				
(3)選定方法	公募				
(4)指定管理者が行う業務内容	ア　事業の実施に関する業務 イ　使用の許可に関する業務 ウ　使用料の徴収に関する業務 エ　施設及び付属設備等の維持管理に関する業務 オ　アからエのほか、センターの管理に関し市長が必要と認める業務				
(5)指定管理者の収支		令和3年度		令和4年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
	収入　指定管理料　(円)	25,564,000	25,564,000	25,564,000	25,564,000
	支出　管理経費　(円)	25,564,000	25,568,656	25,564,000	25,794,759
	収支差額　(円)	0	-4,656	0	-230,759

3　施設の利用状況

利用状況を示す指標			令和3年度		令和4年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
1	利用者数	人	－	7,905	－	14,151
2	緑化相談件数	件	－	507	－	532
3	主催講座参加者数	人	－	706	－	893
4	施設稼働率	%	－	67.2	－	70.7
5						
6						
7						
8						

4　利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	ア　日報への相談・問合せ・苦情・要望・称賛の記録（通年実施） イ　講習会等参加者アンケートの実施（毎回実施） ウ　市民意識アンケートの実施（市と連携し市民2000名を無作為抽出により実施）
(2)把握結果	主な意見として、次のものがあった。 ア　樹木ガイドでの案内スピードが早く、説明を聞き逃した。 イ　イベントや講習会を日曜日に開催した方が、親子で参加しやすい。
(3)結果を受けての対応状況	ア　樹木ガイドの移動速度をゆっくりとして、参加者が揃ってから解説をはじめるように心がけた。 イ　案内を2班体制にし、多くの参加者にフォローできるようにした。 ウ　親子向けの講習会は日曜日に開催するようにした。

5　管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	新型コロナ感染防止対策や筆談を実施し、利用に抵抗がないように取り組んでいる。講習会やイベントに関しては内容を見直し、子供も含めた幅広い方が参加できるよう実施している。
(2)施設の効用の発揮	自主事業として園芸販売を行い、施設の利用促進・利便性の向上に努めている。千里南公園が近接している立地を活かし、公園を使った取組みやイベントを行っており、センターに足を運ぶ機会のない人にも情報発信を行っている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	必要な資格者を配置しているとともに、安定した管理運営を行う体制が確保できている。また、定期的な研修を行い、能力の向上に努めている。経営に関しては、経理帳簿を備え、適切に経理事務を行っており、会社も安定的な管理運営が可能な財政的基盤を有している。
(4)施設の管理経費の縮減	社内でシステム管理によるペーパーレス化に取り組んでいる。また、不要な照明の消灯、温湿度計による空調温度の適正管理を行っており、環境に配慮している。
(5)効果的な事業運営	公園を「つかう」プロジェクトとして、公園のつかい方を検証するイベントを計5回開催し多くの人が訪れた。また、公園でのイベントを企画する市民や事業者にも支援を行っている。支援を行った事業者の中には自ら企画するイベントが公園で開催される予定であり、効果が見られる。 講習会等は定員以上の申し込みがあり、また多様なニーズや季節にあった内容にするなど、見直しに努めている。

(6)総合評価	管理運営方針に沿って、公の施設として適切に運営されている。サービス向上策、利用促進策、安全対策を講じ、利用者満足度調査及びその反映にも取り組んでおり、利用者の評価は非常に高いが、日々多様化している市民ニーズに対応するための事業展開が今後必要である。 市民意識アンケートから、当センター及び取り組みについての認知度が低く、引き続き周知・啓発をしていく必要がある。